

大島議員（自民議連）

平成 29 年 2 月 24 日

教育長 答 弁 実 録

（ 環 境 県 民 局 ）

（ 健 康 福 祉 局 ）

（ 教 育 委 員 会 ）

（問）乳幼児期の教育・保育について

乳幼児期の教育・保育環境の違いによる格差の解消と、それに対する保護者の不安の払拭に向け、どのような取組を行うのか、さらに、乳幼児教育・保育の質を確保し、オール広島県で「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランを実現するための具体的な取組について、併せて教育長に伺う。

（答）

乳幼児期における教育・保育は、生涯にわたる人格形成及び小学校以降の教育の基礎を培う重要なものであると認識いたしております。

しかしながら、家庭、幼稚園・保育所など子供が育つ環境によって、それぞれの取組に違いが生じており、小学校以降の生活や学習においても重要となる、自ら学ぶ意欲や力の育成といった点において課題があると考えております。

こうしたことから、県内全ての乳幼児に、育みたい力の育成に向けた教育・保育が行われ、小学校以降の教育の基礎が培われるよう、本県の乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方と県施策の取組内容を明らかにした「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランを策定したところでございます。

このプランでは、

- ・ 小学校と幼稚園・保育所等が連携をし、お互いの教育・保育を理解し、子供の育ちと学びを連続させていく幼保小連携教育の推進
- ・ 全ての教員・保育士等を対象とした乳幼児期に育みたい力を育成するための研修の充実
- ・ 全ての保護者が自信と安心感を持って、子育てをするための情報の提供や学習の場の充実

などに、取り組むこととしております。

また、本プランに掲げる施策を総合的に推進していくためには、行政・関係機関が連携して、「オール広島県」で取り組む必要があると考えており、乳幼児期の教育・保育の充実のための施策を実施する体制の整備についても検

討を進めてまいります。

教育委員会といたしましては、「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランを関係部局と連携して着実に推進することにより、本県の将来を担う人材の育成に取り組んでまいります。